



マンガでわかる 自主保全士のすすめ



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会は、生産性や設備管理技術、保全技術・技能の向上に関する課題解決を支援することにより、産業界における安心、安全、安定の生産活動・保全活動の促進及び品質の安定・向上に寄与してまいります。



●第2話

「自主保全士の挑戦」

第2話は、自主保全士取得をきっかけに職場が一体となって、前向きに自主保全活動に取り組んだ事例です。

自分が担当する設備の機能・構造、生産に関わる基本事項、改善・解析などの正しい知識を身に付けて、ぜひ自主保全士にチャレンジしましょう。

自主保全士の挑戦



私は2008年
11月に自主保全士
二級の資格を
取得しました

そこで
2009年度は
資格と知識を
職場で活用しようと
思っていました…

ところが
社内での
資格取得
第2号という
こともあります

実践例もなく
なにをするべきか
迷っていました

そんな時
職場に
大きな変化が
おきたのです



レンタル
フィルム
加工室

ええー!

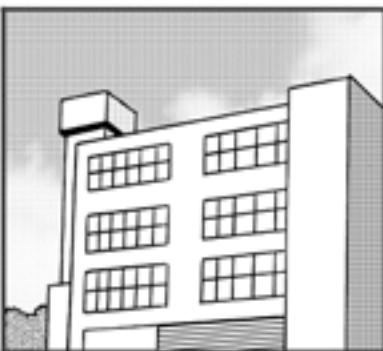


彼女らに
この仕事は
つとまるのか!?





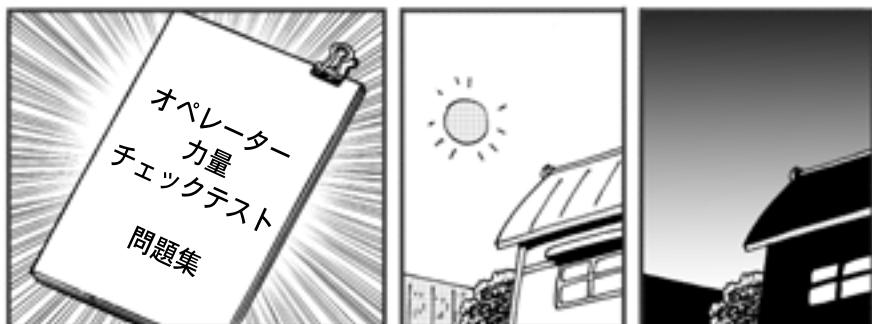














自主保全士
二級を取得
してから
この一年

女性オペレーター
たちと一緒に
自主保全活動を
実践してき
ましたが



自主保全活動を
展開するには
「覚悟」が
必要だと
いうことを
知りました

中途半端な
気持ちで取り組むと
障害にぶつかった時に
挫折したり
メンバーに混乱を
招いたりと
苦労が台なしに
なってしまいます



活動をブレ
させないためにも
計画の段階から
ありたい姿を描くこと
メンバーに教える時は
「覚えて欲しい」という
意思と気持ちが
通い合わなければ
ならないことを
学びました

そして
女性オペレーターの
成長とともに
私自身の成長も
感じています



私はこれからも
自主保全士として
工程の改善と
それを維持する
自主保全活動への
挑戦を続けて
いきます

自主保全の範囲

1	整理、整頓、清掃	職場環境の整備
2	基本条件の整備	清掃：回転部、摺動部などの可動部、漏れ、コボレ、汚れのチェック、微欠陥の摘出 給油：指定個所へ、指定油を、指定量、指定頻度で、指定方法で 増締め：センサー、リミットスイッチ、安全カバーなどの小部品、モーター、ポンプ、ファンなどの固定ボルト
3	目で見る管理	判断の容易化、見えないモノを見るように (オイルゲージ、圧力計、温度計、電流計、ルブリケータ、ドレン、ファンの風量、流体の流れなど)
4	点検	始業点検 終業点検 運転中点検(目視、異音、異臭、温度)
5	小修理	簡単な部品交換(パッキン、シール、Oリング、Vベルト)、エア3点セットの分解整備、エア漏れ、油漏れの修理など



チェックリスト

製造オペレーターが行う日常保全（清掃・給油・増締め）の簡易版チェックリストです。あなたの会社の製造現場ではどれだけできているでしょうか？

清掃

- 機器の不要物は撤去されている
- カバーを外して、機器内部まで徹底的に清掃した
- 汚れ発生源の発生物、発生量、位置の確認はできた
- 清掃困難箇所の確認ができた
- 維持管理の基準を決めた

給油

- 使用している潤滑油のリストアップができる
- 給油箇所、点検箇所の確認ができた
- 給油困難箇所の確認ができた
- 給油の維持管理の基準をきめた

増締め

- 必要な箇所の増締めがすべてできた
- 増締め箇所について、チェックマーク、合いマークが付けられている
- 重要ボルトについて維持管理の基準を決めた
- 必要な工具がきちんと整理されている

マンガでわかる 自主保全士のすすめ

●自主保全士が身につける内容

当会は、「設備に強いオペレーター」に必要な能力として、次の4つの要件を想定しています。

- ①異常発見能力・異常を異常として見る目を持つている
- ②処置・回復能力・異常に對して正しい処置が迅速にできること
- ③条件設定能力・正常や異常の判定基準を定量的に決められること
- ④維持管理能力・決めたルールをきちんと守られること

自主保全士検定の内容は、製造オペレーターに必須の知識・技術を網羅しています。

〔期待される効果〕

- ・オペレーターが習得しなければならない知識と技能が明確化されることにより、学習意欲を刺激し、知識と技能の向上に寄与します
- ・企業内の主觀的評価から、第三者の客觀的評価に変わることにより、オペレーターの知識と技能が公平に評価されます
- ・製造現場が抱えるさまざまな課題や厳しい製造環境に対応できるオペレーターを養成し、貴社の体質強化を支援します

	科目	内容
I	設備の日常保全(自主保全一般)	自主保全の基礎知識など
II	生産の基本	5S、QC手法、品質、安全衛生など
III	効率化の考え方とロスの捉え方	TPMの基礎知識、ロスの考え方、故障モードなど
IV	改善・解析の知識	QCストーリー、なぜなぜ分析、IE手法など
V	日常保全の基礎	締結、潤滑、空圧、駆動・伝動、電気、測定機器、図面など

JIPM